

# 一般質問27人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館・公民館庁舎地区行政センターなどの公共施設、または議会事務局で閲覧できます。なお、3月定例会会議録は6月中旬から閲覧可能です。

## 鈴木 木 勝 則

**問** 市内の企業団体等で従業員向けに運営している保育室はどのくらいあるのか。

**答** 白河病院、新白河中央病院、郡山ヤクルト販売白河センターの計3カ所です。福島県が子育て支援、少子化対策として県庁内に無認可保育所を開設する。行政が自ら立ち上げる画期的な事業です。

**問** 公立幼稚園での預かり保育について

**答** 新市において、預かり保育を実施することが確認されています。

**問** 子育て支援センターについて

**答** ちびっこ広場、自由広場、すこやか子育て相談、サークルデーの活動をしています。年々利用者も増加しており、16年度3466人。本年4月から、あいに1広場、発達相談の日を新たに加えた。広報白河の3月号に掲載したが、今後はパンフレットを作成し

PRする。専門の保育士2名を配置しているが、保健師についても、保健センターと連携を図りながら支援を行っています。十分な活動可能な場所の確保について、利用状況の推移を見極めながら多方面から検討していきます。

## 深谷 幸次郎

**問** 今、国が進めている三位一体の改革は、平成18年度予算においてどのように影響しているか。

**答** 三位一体の改革の影響については、国庫補助負担金で6億161万5千円が減額となり、これに対する所得譲与税で4億6179万7千円を計上した。一方、地方交付税は、地方財政計画で減少が見込まれていることから、普通交付税で55億4669万5千円、臨時財政対策債で8億4860万円の計上となったが、特殊要因を除く前年度対比では、合わせて3億7411万5千円、5.9%の減額となった。

**問** 犯罪から子供たちの安全を守るための対応策にどのような取り組みがなされているのか。

**答** 市内全小学校において、「子ども見守り隊」の自主防犯ボランティアが組織され、児童生徒の登下校時の巡回の強化を図っている。

また、通学路の危険箇所の点検、集団による登下校の促進、防犯ブザーの携行等、事故を防ぐ安全管理に努めています。

## 西村 栄

**問** アスベスト石綿健康被害について、公共施設について、民間住宅に対するアスベスト対策を伺う。

**答** 公共施設のアスベスト分析調査を行った結果、8施設にアスベストの使用が確認された。このうち、アスベスト含有率が規制基準の1%を超えるのは5施設あり、3施設は除去工事が完了しており、残り2施設も完了の予定です。民間住宅に関するアスベスト対策については、昨年10月から総合窓口を市民部生活環境課に置き、関係各課と連携し業務に対応しています。

**問** 東地域集落センター建設について伺う。

**答** 集会所建設については、1町内会1施設を原則として、未設置町内会建設を優先し、既設集会所の改築の場合は施設の老朽化、建設年次等を考慮し建て替えを進めています。

**問** 市道整備について施設方針で事業着手は確認できたが、河川改修なしで道路及び橋の架け替え事業は可能か伺う。

**答** 橋梁については、現況断面見合いの暫定施工とすることで県との協議が整い、平成18年度調査設計、19年度に着手、早期完成を目指します。

## 石井 廣

**問** 一段と厳しさを増す市町村財政、放置できない。合併による余剰人員、ある雑誌によると168人が余剰人員と報道されているが、市長は職員の削減をどのように進めていくのか。また、いろいろな手当を見直す考えがあるのか、市長に伺う。

それと、市民の協力で市長になったのですから、思い切った改革を期待する。  
**答** 自治体の役割は、住民の

福祉の増進を図ることであり、限られた財源の中で効率的な行政運営を実現していくことが求められています。特に人件費つまり職員数の問題が大きな課題ですが、サービスの低下があってはならない。職員はこれまで以上の一層の努力、能力の向上が求められます。また、特殊勤務手当・寒冷地手当は廃止しています。

**問** 児童生徒の安全のために現在活動している見守り隊について、相互の連絡体制や情報交換の場がないが、どのように考えているのか。

**答** 警察と連携し連絡協議会の体制を検討しています。  
**問** 児童虐待の問題が全国的となっているが、市はどのように対応していくのか。

**答** 現在、関係機関に働きかけ、児童虐待防止ネットワーク結成に向け協議しています。  
**問** 10代の人工妊娠中絶率、人口千人当たり全国平均が10.5人に対し、県南地区は56.1人と異常に高いが、どう思っているのか。

**答** 大変難しい問題だと認識しています。今後は教育機関・

保健機関の両面で対応したいと思えます。

**問** 図書館等の建設について具体的な話ががあればお聞かせいただきたい。

**答** 複合文化施設等については旧白河市及び旧表郷村で検討されており、今後の地域協議会や政策調整会議で回答を出していくつもりです。

## 吾妻 一郎

**問** 表郷地区複合文化施設建設の見通しについて

**答** 昭和47年に建設された表郷公民館がありますが、老朽化が著しく、住民の生涯学習に対する要求に十分にこたえられない状況にあります。

新市建設計画の中にも盛り込まれていることから、整備しなければならぬ施設であると認識しています。

平成14年には複合文化施設検討委員会が立ち上げられ、施設の内容等について検討が行われ、文化ホール、図書館及び郷土資料館を含む複合文化施設について報告書が提出されています。

平成17年10月には基本構想が策定されていることから、今後は政策調整会議等におい

て、旧白河市の複合文化施設建設計画との調整を図るとともに、建設場所や時期等について協議検討してまいりたいと考えています。

## 鈴木 木 正 行

**問** 小野田小学校プール施設内トイレの浄化槽を、早急に整備することを要望しますが、白河全域の小中学校でプール施設内トイレの浄化槽未整備は何ヶ所あるのか。

**答** 小中学校プール施設内トイレの浄化槽未整備の箇所数は、小中学校23校中22校においてプール施設内にトイレが設置され、そのうち19校は浄化槽が整備されており、3校が未整備です。

**問** 中学校に対する非行防止対策について

**答** 児童生徒の非行等の防止に向け、毎月の定例校長会議の中で生徒指導の重点を確認し、各学校において生徒一人一人に対して、的確にきめ細かな対応をするよう指導をしています。

更に年3回各学校の生徒指導主事による協議会を開催し、問題点の把握と情報交換に努めているほか、各学校からの

要請に応じて教育委員会の生徒指導担当者が学校訪問を行い、各学校の実態に応じた指導を行っています。

今後も連絡を密にしなが児童生徒の非行防止に努めてまいります。

## 水野谷 正 則

「人・文化・自然・輝き集う県南中核都市の実現に向けて」まちや故郷は子供や孫への贈り物、そして子供や孫からの預かり物。こんな思いから一般質問に立ち、今後の計画についていただきました。

**問** 総合計画について

**答** 長期的な展望に立ち本格的に着手します。

**問** 実施計画を3年周期にしていたいただきたい。

**答** 提案の内容も含めて検討していきます。

**問** 計画を全市民・全職員に公開していただきたい。

**答** 情報提供を行い、共有を考えています。

**問** アクセス道について

**答** 要望してまいります。  
**問** 釜子小を初め教育施設の改善について

**答** 改修計画に組入れたいと考えています。

**問** 国語と道徳について

**答** 国語は極めて重要、授業時数を増やすなど考えています。道徳も今まで以上に重要、保護者との連携を踏まえながら道徳性の育成が図られるよう各学校に指導していきたいと考えています。

**問** 合併後の新市において日常的賑わいを創出するため、本庁舎以外の庁舎の空きスペースを早急に活用していただきたい。

また、市内唯一の大ホールの市民会館の楽屋、トイレ等を改装して、街の賑わい創出の一翼を担ってもらいたいと望む市民の声が多いが、市当局の考えを伺います。

## 佐川 京 子

**問** 各庁舎の空きスペースについては、各地域協議会等の意見を聞き、利活用を図っていきます。

市民会館については、当面は利用者の安全と衛生面を考慮して維持管理していきます。

**問** 市の財政政策の中で教育費についての方向性を伺います。

**答** 厳しい財政状況であるが、今後とも教育水準の向上とよ

りよい環境整備に努力していきます。

**問** 利用者にわかりやすく利用しやすい子育て支援事業とするため、核となるセンター設置が強く市民より望まれているが、どうか。

**答** わかば保育園の「あいに1広場」の利用状況を見極めて調査研究します。

## 大 花 務

**問** 市道金勝寺大谷地線の道路拡張について

**答** 一級市道で市街地から厚生病院・大信地区への最短ルートであり、今後都市計画道路整備事業等との調整を図りながら検討します。

**問** 会津町地内の市道の整備について

**答** 他の地区の整備状況との調整も図りながら、未整備道路の解消を図れるよう努力します。

**問** 国道4号の4車線化の進捗状況と今後の事業計画。

**答** 国の直轄事業で米交差点から国道294号交差点までの延長約2キロを実施中。金勝寺の立体交差接続部までの区間は、平成23年度完了予定で進めています。



**問** 白河厚生総合病院移転先の周辺整備について

- ①アクセス道路の整備
- ②上下水道の整備見直し
- ③路線バスの運行予定

**答** ①については、前項で述べたとおりです。②については、周辺の道路整備計画に併せて、上下水道整備計画の見直しについて検討します。③については、市民の足を確保する観点から、どのような方策が考えられるか検討します。

**石名国光**

**問** 合併4市村にある特産品や物産を販売する場所を設置してはどうか。

**答** 公共施設で物産販売が可能な施設は、きつねうち温泉売店・関の森公園売店・小峰城休憩所売店等があります。今後、地場産業の育成とともに、地域の活性化を図るため、生産された商品の販売に積極的に働きかけを行ってまいります。

**問** 森林居住環境事業とは。

**答** 自然とのふれあいを通じて、自然の大切さや動植物の生息調査等の学習フィールドとするため、「林業市民交流の森」「野鳥観察の森」「森林

学習の森」等と遊歩道整備を図る予定。南湖森林公園づくり懇談会を立ち上げ、住民参加で計画を作っていく予定となっております。

**問** ホームページを持つ市民の協力を得て、観光情報を発信してはどうか。

**答** 現在、白河観光協会ホームページで多岐にわたる情報の提供に努めています。ご指摘のとおり幅広い観光情報を提供する観点から、ホームページ開設者のご協力のもとに、情報発信に努めていきたいと考えています。

**高橋光雄**

**問** 中心市街地に住みたくないような環境整備・誘導策を策定していますか。公共住宅、公共施設の集積化が必要と考えますが。

**答** 地域包括支援センターを開設するとともに身近な街づくり街路事業、回遊型の街路事業を実施し、中心街の整備に努めます。おただしの集積化は重要と考えています。更に、民間住宅の借入れ等も視野に入れ検討します。

**問** 歴史花街道事業の具体化として、南湖神社奥の切り通

しを蛇石まで整備し回遊性を高めたい。芭蕉・曾良が歩いた白河の関周辺の道路を「卯の花街道」と名付け、ウツギを植えてはどうか。

**答** 南湖周辺の道路は、歩行系の道路整備事業として検討しています。卯の花の植栽は、良いと思う。道路管理者の県と協議が必要なのでよく検討します。

**問** 年に数回ある国道4号線の大渋滞を考えると、白河病院、建設中の厚生病院へのアクセス道路が必要と思うが。

**答** 都市計画道路道場小路金勝寺線に接続する、金勝寺大谷地線を幹線道路として検討しています。

**飯村守**

**問** 様々な格差が社会問題となっているが、五箇地区の「情報格差解消対策」の実施結果と今後の対応について伺う。

**答** 五箇地区の29局番だけが、高速通信インターネットを利用できない状況にあります。そのため、低コストで高速通信インターネットを実現するため、板橋地区7世帯を対象に、五箇地区行政センターに

指向性アンテナを設け、7世帯に平面アンテナを設置して、無線による実証実験を実施しています。

その中間状況として、3世帯は良好な結果ですが、4世帯は受信できない状況となっています。

このことから無線単独による高速通信インターネットの実用化は難しいと考えています。

今後については、双石地区を除く五箇全世帯を対象に、利用の意向調査を実施しているところであり、この結果を踏まえ、再度NTTと早急に協議するとともに、国、県の補助事業を含め、対応を検討してまいります。

新市内においても情報格差が生じないよう調査し、格差是正を検討していきます。

**深谷弘**

**合併と財政問題について**  
**問** 市民は、区長報酬が高過ぎると考えています。なぜ高い報酬が必要なのか、これまでに明確な答弁がありません。経費削減というなら、区長報酬を削減し、市民サー

ビス向上のために使うべきです。

はないでしょうか。

**答** 区長は、政策決定や予算編成への関与、専決権に基づく予算の執行、地域代表としての役割、更に地域自治区事務所の所長を兼ねる常勤の特別職であり、その報酬は一般職の最高額よりも高く、議決を必要とする助役・収入役・教育長より低く設定されたものです。なお、行財政改革の観点から、今後特別職の報酬について区長報酬も含め検討していきたいと考えています。

**ごみ問題について**  
**問** ごみ有料化を見直す考えはありませんか。

**答** ごみ有料化によりごみ処理への関心とごみ減量の意識の高揚を図ることは、ごみ減量化につながるものと考えています。したがって、現時点でごみ有料化を廃止する考えはありません。

**星吉明**

**問** 農業集落排水事業の使用料の格差、また異なっている汚泥処理方法と事業の進捗状況及びアースラフ方式による処理方法とはどのようなものか。

**答** 今後は各地域間との協議

を行い、白河市農業集落排水汚泥処理利用計画を見直し、汚泥処理の効率化と経費削減に取り組む。事業進捗については、白河67%で、他の地域は今年で100%になる。

アースラフ方式とは、汚泥処理減量技術で、菌により有機物の汚泥を消滅分解するシステムです。

**学習指導方針について**

**問** 義務教育週五日制が導入されましたが、結果として学力の低下が指摘されました。旧白河市としての学力向上した学習指導のあり方、方策等について伺う。

**答** 基礎学力向上推進会議を設置し、学力向上に関する問題を把握し、解決の方策を協議、低学年から習熟度別学習を取り入れ、指導方法の工夫改善、日課表に工夫を加えて授業以外の時間も確保し、ドリル、読み聞かせなどの充実、中学校は教育課程の編成に改善を加え、特に数学・英語の指導に努めました。

**大竹利男**

**問** 白河市としても若者の安定した雇用の確保と白河市への定住のためにも力を注ぐべ

きです。若者の雇用の実態はどのようになっているのか伺います。

**答** 白河公共職業安定所18年1月末現在の新規求職者762名のうち、45歳以上の中高齢者は316名、44名は45歳未満の求職者となっています。就職件数は、189件のうち、45歳以上の中高齢者は50件で139件は45歳未満の就職者となっています。本年の高校卒業予定者数、1601名、求職者は496名で、1月末の就職内定率は、88.1%、前年同月対比7.5ポイントの増となっています。

**問** 雇用確保のための企業訪問活動についてどのように考えていますか。

**答** 新規学卒者の雇用については、毎年、市内の企業を直接訪問し、働きかけを実施しています。

平成17年度は91事業所を訪問しました。2月に市長が市内の企業33社を訪問した際にも、若者の雇用についてもお願いしています。

**奈良喜代一**

**問** 個人住宅リフォーム助成事業は、個人住宅の改修を市内の業者に委託した場合、費

用の10%、10万円ないし15万円を限度に、市内の商店の商品券で交付するものです。

**答** 市内の業者が施工するということにおいて、地場産業を育成し、地域経済の発展に寄与すると思われま。今後他市の状況も調査します。

**問** 少子化対策と子育て支援には万全の対策が必要と思う。

**答** 不妊治療の助成はありますが、所得制限があるので福祉事務所の窓口を紹介しています。妊婦一般健康診断を前期、後期に各1回医療機関に委託して実施しています。

**矢口秀章**

**賑わいと活力を生み出すまちづくりについて**  
**問** 合併して農地、山林が大幅に増大した割には、農業問題の扱いが軽少ではと考えま

す。

出産育児一時金、10月より30万円から一律35万円を支給することになりました。

児童手当は小学校終了時まで拡大するとともに、所得制限も緩和されます。

また、要因に箱物行政の問題もあると考え、合併して新庁舎の建設をしないとしたのもその一環であり、様々な角度から財政健全化のために努力をしていく考えです。

**問** 新市まちづくりプランの主な建設事業の中で、市民が

望んでいる複合文化施設建設に、合併特例債を活用しての建設見直しについてお伺いします。

**答** 合併特例債の枠で図書館、市民ホールの順で建設したい。時期は調整会議に諮って行っていきます。

**森山千代**

**問** 介護保険料の3年ごとの見直し時期で、今回大幅な値上げとなります。基準額は月3300円(年額3万9600円)。旧白河市は月額533円。旧表郷村は788円。旧東村は783円。旧大信村は1200円の値上げとなりますが、介護保険基金積立金を取り崩して値上げを抑えるべきでないか。特に旧大信村の1.57倍の地域格差の解消のため、緩和措置を講じるべきではないか。

**答** 介護サービスや施設整備等の充実のため、値上げはやむを得ません。

**問** 介護福祉用具購入、居宅介護住宅改修の支払い方法を代理受領方式で実施すべきではないか。

**答** 平成18年度より利用者が1割負担の支払い方法で行っていきます。



## 穂積 栄 治

**問** 市税の6割を占める固定資産税について、滞納繰越額の徴収率アップのための対策を伺います。

**答** 今後、収納率向上を図るため、各種調査や滞納処分を強化してまいります。

**問** 市有林の森林経営についての考えを伺います。

**答** また、表郷地区の市有林に、財産区に準ずる山林があるが、承認をしていますか。

**答** 森林の、適正管理に努めなければなりません。表郷地区の山林に、官庁造林地が含まれていて、契約内容は新市においても尊重されなければならぬと考えています。

**問** 保安林の設定について

**答** 財産区は、管理会での審議を見守り、その他の財産については、地域性を考慮しながら見極めます。

**問** 土地造成事業について、販売価格と実勢価格の格差をどう対処するのですか。

**答** 第2白鳥団地の販売は、定住化の促進と地域の活性化、また財政の健全化の意味からも重要であり、緊急に進めべきと考え、今後は価格の見直し等販売促進に向けた様々な手法の検討、改善を図ってまいります。

**柳 路 幸 雄**

**問** 表郷地区の道路改良率、道路舗装率が旧4市村で一番低い、今後の計画は。

**答** 各地区の道路改良率、舗装率は、日常生活への密着路線を優先に整備している結果から改良率、舗装率として数値に表れるもの、地域の実感とは必ずしも一致しない。新市の均衡ある発展に、道路の整備は重要な課題であると認識し、危険性や緊急性を考慮し、計画的な整備に努めます。

**問** 表郷保育園の入所待機児童対策について

**答** 昨年4月に条例改正を行い、定員45名を50名にしました。18年度の入園申し込みは68名で、新たな保育室を確保し、4月に58名を受け入れ、5月に5名、6月に1名、残り4名は10月に受け入れ、全員の入園を予定しています。また、先を見通しての取り組みは、現時点では的確に把握することが困難ですので、市内8カ所の保育園と連携を密にし、相互受入れ体制を作る

ことも、有効な対策とと考えています。今後待機児童が出れば、状況を見て定員の見直しも含め考えていきます。

**辺 見 美奈子**

**問** 合併まちづくりプランと18年度当初予算での普通交付税額の比較は。

**答** 3億1506万円2千円の減となっています。

**問** 国は、団塊の世代の大量定年退職者に対応する10年間の特例措置として退職手当債を創設したが、活用を考えているのか。

**答** 退職手当債は地方交付税措置がない。後年度の負担を考慮し、活用は慎重を期したい。

**問** 合併後の国民健康保険税は5年間不均一課税とされているが、急激な値上げは滞納者の増加となる。安定的で持続可能な国民皆保険制度を維持するための今後の考えは。

**答** 助成費の拡充や保険者の再編・統合を強く要望する一方、被保険者の皆様にも応分の負担増が必要と考えています。

**問** 16年度水道事業会計決算で、表郷・東地域が収益的収

支で損失とあるが。

**答** 総支出額に占める堀川ダムの受水費割合が表郷40.5%、東37.3%と高く、毎年決算で損失が生じた。未処理欠損金は、合併前の議会一般会計からの補助、建設改良積立金の目的外使用で全額補てんされた。

**伊 藤 邦 光**

**問** 今年度予算で市道白坂駅

**答** 今年度予算で市道白坂駅十文字線、南湖石阿弥陀線の整備が予算化されました。この2路線は、8割の子供たちが利用すると思われませんが、完了見直しは。

**問** 白坂駅十文字線については、平成18年度全測量と学校側より国道294号に向かって400mの工事を予定、できるだけ早い完成を目指し事業を進めます。南湖石阿弥陀線は、18年度測量設計を実施、平成19年度工事完了の予定。皮箆3号線は、平成19年度完了を目指しています。ほか、7路線は、開校を念頭に計画。

**問** 国道294号白坂郵便局付近は、南部中が開校すれば自転車通学の子供も想定され、一

日も早い改良が待たれていると思いますが、この改良見直しは。

**答** 平成17年12月7日、路線測量のための説明会が開かれ、概略設計案が示されたところですので、できるだけ早急な事業着手に向け要望を行ってまいります。

**山 本 忠 男**

**問** 盲人用点字ブロックを黄色に統一願います。

**答** 黄色が目立ちやすいので、市道の点字ブロックを点検し、改善に努めます。

**問** (仮称)白河中央インターチェンジの進捗と今後の取り組みを伺います。

**答** 昨年5月と8月に県に対し要望、インターチェンジは経済や文化面でも必要不可欠であり、更なる要望を行います。

**問** 介護予防につき、筋力トレーニングセンターの設置を再度要望します。

**答** 介護予防に大変有効であり、今後も引き続き調査・研究してまいります。

**問** 子供の安全対策について伺います。

**答** 警備員の配置は、警察署

との連携で、「子ども見守り隊」等による安全・安心の確保を中核に進めます。「子ども安全・パトロール車」は、新たに各庁舎に2台ずつ登録し拡充します。また、防犯のため公園の樹木整備も地元住民と連携を図り対応します。

**問** 一般住宅の耐震診断について伺います。

**答** 「誰でもできる我が家の耐震診断」を広報等の活用で考えてまいります。

**鈴木 木 博 之**

**問** 合併後の財政の特典として交付税算定替え(10年間保証する)があったが、既にほごにされている。また、国の合併補助金も3年のうちに入る予定が10年に延びた。本当なのでしょうか。

**答** 交付税算定替えは単純に合併前の額を保証するものではない。また国の補助金が10年になったのは本当です。

**問** 旧4市村で職員給与に差があります。この平準化を図る日程は。

**答** 個々人により異なるため、長6年を要します。

**問** 旧白河市の国保基金残高

は674円ですが、この背景は。

**答** 平成15年度に取り崩しを行った結果です。

**問** 東地区母畑パイロット事業の債務負担行為は、なぜ17年6月議会で決めたのでしょうか。

**答** 数年前より受益者負担の軽減を検討し、この時期になりました。

**問** 厚生病院移転はJA主導で進んでいます。今後補助金要望等は。

**答** 3月1日付で西白河市町村会に17億5千万円の申請が出てきました。

**大 木 信 夫**

**問** 新市の新たな飛躍に各自

**答** ①合併により我が地域の住民が危惧していた、行政が身近でなくなるのの声を、区長としての役割を果たしたい。②市長の補助機関として適切な対応と担当する地域の振興を図り、市全体の発展と市民生活向上に努力する。③合併協議会に加わった一人として、協議で約束された実現に向けて、与えられた期間取り組みたい。

**問** 白二小は築40年が経過し、

老朽化が激しい状況から、南

部中と平行して改築を進められないか。

**答** 南部中は平成20年開校にある程度見通しがつき、白二小学校の状況等を考慮すると、改築計画を立て対応を認識している。

**問** 白二中のプレハブ校舎は、今後生徒数の推移を見ても減らないことから、早急に増改築を伺う。

**答** 指摘のとおり増加傾向にあり、教室の不足が予想され、検討していく。

**問** 西郷搦目線結城工区、294

**答** 一日も早く完了に努力する。CGを含め、現況説明を県と協議、設定する。

**藤 澤 正 典**

**問** 新生白河市の誕生に伴い、旧4市村による合併自治体があるのか、新たなルールとして、基本的な事項を定める総合条例、いわば白河市の憲法ともいえる自治体基本条例を制定する考えがあるのか。

**答** 当条例は自治体の組織運営の基本的な枠組みを示すも

ので、自治体が策定する計画や制定する条例等はこの自治体基本条例を遵守しなければならぬ。自治体の中で最高の法規性を有することから、自治体の憲法と言われている。当条例が制定される背景としては、主に地方分権への対応と住民活動の活性化が考えられ、制定の意義については、特色を生かした魅力ある地域

# 総括質疑

**戸 倉 耕 一**

**問** 嘱託職員賃金について

**答** 平成18年度一般会計予算案の中で、全嘱託職員の賃金カットまたは一部嘱託職員の賃金カットなのでしようか。

**答** 旧4市村での賃金等の取扱いは異なっていましたので、合併協議の中で、身分・勤務条件等の統一に向けた調整を

しました。

づくりのために企業や地域住民、行政が自ら考え、連携、協働により自治の確立と持続可能な地域経営を行うことであると認識しています。

次に、賃金については、対象人数が多い旧白河市の適用金額を基準に、旧3村の金額等も参考として決定したものです。

嘱託職員及び臨時職員の位置付けの変更に伴い、金額が下がった方もいれば上がった方もいますので、一方的に賃金をカットしたというものではないことをご理解ください。

今回の調整は、平成18年4月より適用することになります。

**真 船 俊 雄**  
議案第26号平成18年度一般会



**計予算第5条一時借入金の最高額について**

**問** 一時借入金とは、歳出予算はあっても年度当初のため税金が納付されない、地方交付税の交付がなく、実際に収入がないのに職員給与や事業費等の経費の支出が必要な場合に、当座の資金繰りの経費に充てるものをいうとあるが、平成16年度において一般会計の中で旧4市村で一時借入金を借入れた市村があれば、借入金金融機関名、借入額、利率、また借入方法として入札が行われたと思うが、参加された金融機関名を伺います。

**答** 平成16年度の借入れ実績ですが、旧白河市の借入額は20億円、金利0.05%、借入先は白河信用金庫、支払利息額は18万2191円です。旧大信村の借入額は3億5千万円、金利0.089%、借入先は(株)福島銀行、支払利息額は7万8515円です。

**玉川里子**

**女性政策事業について**  
地域の活性化や少子高齢化問題に伴う女性の役割を十分に理解していただき、更に国県からも積極的な取り組みに

対する要請もされています。女性政策費の検討を含め、市長の今後の対応に是非期待したいと思います。

**問** 平成18年度一般会計予算書の中に女性政策事業費が計上されていますが、最近は自治体の婦人団体事業が著しく衰退途上にあると言われているが、市長の施政方針の中でも女性政策について触れていませんが、どのように考えているのか、その方向性について市長より答弁をいただきます。

**答** 女性政策の中で、これまで男女共同参画の実現に向けた様々な取り組みが進められてきています。新市における審議会や、各種委員会には積極的に女性を登用するように努めています。

今後は(仮称)「しらかわ男女共生会議」を早急に組織し、市民のご意見を取り入れ、より実行力のある男女共同参画推進の計画を新たに策定し、総合的な推進を図ってまいります。

**鈴木勇一**

**議案第26号一般会計予算、国営母加土地改良事業償還金**

**減対策事業について**  
**問** 本事業に対し更なる債務負担行為は、二重補助とならないのか。

**答** 本事業に関する総地権者は何名ですか。

**答** 受益者に対する償還軽減対策として助成措置を講じたものですので、二重補助に当たらないと考えています。また、他の地区への助成については、単に事業償還のみに着眼した助成ということではなく、農業振興を図っていくための施策を講じながら、限られた財源の有効的な手当てとしての予算の位置づけをし、必要な施策を推進していく考えです。

次に、総地権者数は236名であり、白河市以外は18名います。償還金軽減対策事業対象者は、白河市内在住者、市税完納者、償還金期限内納入者となっていて、一括繰上償還者には助成されないこととなります。

**大竹利男**

**工業用水道事業会計拠出金の概要と予算について伺います。**  
**答** 工業用水道整備事業は、

白河複合型拠点整備事業の実施に当たり、県と市が一体となつて、平成6年4月1日付で白河市と福島県が取り交わした「複合型拠点整備事業に関する協定書」に基づき、白河市が分担する事業の一つとして整備したものです。工業用水道事業会計は、本来、工業用水を立地企業に給水することによる料金収入によって、収支均衡を図るものですが、同団地での操業済み企業が現時点までの間に一社もなく、工業用水の給水料金収入がゼロの状態になっていることから、収支不足分を市が繰り出してきている状況にあります。

**問** 職員給与格差について、新市においては是正を行うとあるが、今予算に反映されているかを伺う。

**答** 4月の異動昇格もあるが、最長6年間で問題を解決していきます。

**問** 土地取得特別会計に道の駅用地とあるが、場所、面積、計画全体を伺う。全く同じ質問が前に出て、適地でないのは理解するが、では、その土地を何に使うのか。

**答** 飯沢地内の約8千㎡の土地ですが、整備には多額の費用がかかるので、今後十分検討していきます。

**問** 職員給与格差について、新市においては是正を行うとあるが、今予算に反映されているかを伺う。

**答** 4月の異動昇格もあるが、最長6年間で問題を解決していきます。

**深谷弘**

**一般会計予算について**

**問** 市税が、前年対比で0.5% (2035万7千円) 減となった要因は何ですか。

**答** 評価替えにより、固定資産税が3億4159万7千円(7.8%)の減となりましたが、個人市民税で2億2752万1千円(12.3%)、法人市民税で7035万5千円(11.2%)、市たばこ税で2168万9千円(5%)、それぞれ増となったことによるものです。

**問** 合併特例債は、当初予算で12億8160万円充当されています。新市建設計画では、今年度中にと17億円程度予定されていますが、政策調整会議等で調整され、6月以降に提案されることになるのですか。

**答** 基本的には国県から許可を得なければなりませんので、我々が考えているとおりにいかどうか大変難しいところもあります。平成18年度については、例えば、設計から入らなければならぬものもあるかと思っておりますので、次年度に移行されることもあり得ることだと考えています。

**鈴木博之**

**17年度一般会計補正予算中、歳出の退職手当について**

**問** 14名2億9662万円は、11月から3月までの定年前早期退職者なのでしょうか。

**答** 13名は定年前、1名は定年退職者です。そのうち、男子5名、女子9名です。

**問** 同じ予算中、歳入のうち雑入、退職手当精算金として4億5619万円が入っています。これは、旧3村の過去の積立金ですが、この内訳は。また、市においてはこのような制度はないと聞きましたが、あっても加入していないのでしょうか。

**答** 旧表郷分5299万円、旧大信分2億4965万円、旧東分1億5354万円です。市についても制度はありませんが、当市は加入していません。

**問** 今後、よりふえると思われるこの退職金について、大変心配です。どのように財源確保を図られますか。

**答** 歳出の見直しを図る等、財政健全化の過程で財源の確保に努めます。

**辺見美奈子**

**17年度暫定補正予算の歳出で財政調整基金積立金8億2987万4千円が計上されているが、新市が均衡ある発展をするためには財源確保が必要である。17年度末での基金残高は幾らになるのか。また、18年度での基金運用をどのように考えているのか。**

**答** 3月末での財政調整基金の残高は、15億3450万円となる見込みです。財政調整基金の基準ですが、県のヒヤリング等では、標準財政規模のおおむね10%と指導を受けていますので、17年度末基金残高は一時的に達成します。

しかし、18年度当初予算において、4億4千万円を取り崩しを見込んでおり、今後も、6月補正予算以降にも財源の活用を見込んでいくところです。財政調整基金は年度間の財源の不均衡を調整するものですので、安定的な財政運営のため適正な確保に努めます。

**傍聴席からひとこと**



イドに立って真剣になされており、今や避けて通れない行政改革についても、非常に難しい問題と改めて認識しました。改革を進めるに当たっては、国の基準で考

**3月定例会を傍聴された方は82人**  
傍聴された方の中から、今回は東下野出島の藤澤政雄さんに傍聴した感想などをお聞きしました。

私は、合併後の議会を初めて傍聴しました。議場に入ってみて、その雰囲気緊張もしました。一般質問をする議員の皆さん、答弁をする市当局の方々、皆さんが真剣に対応しているのを見て、その努力に敬意を表したいと思えました。議会での議論の内容は、新市になってからの懸案事項等が多くを占めていたように感じました。それぞれの質問には市民のサ

選挙管理委員及び補充員の選挙

地方自治法の規定により議会の選挙において、8名の方が当選しました。

委員 小泉 鶴之(小田川)

“ 鈴木 安司(番沢)

“ 金澤 庸治(町屋)

“ 小松 孝(深仁井田)

補充員 菊地 友義(関辺)

“ 佐藤 節子(金山)

“ 金子 勝明(下小屋)

“ 石井 信一(上野出島)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

人権擁護委員法により、候補者の推薦について、全会一致で同意しました。

白石 隆(大信豊地)

監査委員の選任

去る12月22日の臨時会において、市議会議員のうちから選任される監査委員の選任案件が提案され、全会一致で選任に同意しました。

監査委員

鈴木 俊(双石)

請願

- コミュニケーション保障に係わる手話通訳・要約筆記についての請願(採択)

※採択した請願は、市長その他の関係機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を求めることにしました。

(意見書提出の請願は、すべて採択され、意見書案として提案されましたので、意見書の内容をご覧ください)

意見書

- 子育て支援の拡充を求める意見書(可決)
- 社会保障制度の一体的改革を求める意見書(可決)
- 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(可決)
- 雇用労働者に対する安易な増税路線の撤回を求める意見書(可決)
- 「公共工事における賃金等確保法」(仮称)の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書(可決)
- 福島県立医科大学付属病院の小児科医療体制の充実を求める意見書(可決)
- 日本と同等の安全対策が実施されない限り、アメリカ産牛肉の輸入再開をしないことを求める意見書(可決)
- 最低保障年金制度の実現を求める意見書(可決)
- 患者・国民負担増計画の中止と保険で安心してかかれる医療を求める意見書(可決)
- 品目横断的経営安定対策に関する意見書(可決)

※この意見書は、請願採択に伴い提案されたもので、すべて可決し、内閣総理大臣ほか関係機関に提出しました。

財産区管理委員会委員選任に同意

財産区管理会の規定により、委員の選任について、全会一致で同意しました。

★小田川財産区

管理委員会

佐藤 信和(萱根)

石田 昌宏(萱根)

和知 孝夫(小田川)

平久江 洋(泉田)

深谷 孝男(小田川)

片桐 敬治(小田川)

草野喜久雄(豊地)

★大屋財産区

管理委員会

菅森 勝雄(隈戸)

永山 行雄(隈戸)

永山 正(隈戸)

坂田 定(隈戸)

鈴木 正明(下小屋)

塚野直次郎(下小屋)

北野 久次(下小屋)

★樋ヶ沢財産区

管理委員会

森 吉正(隈戸)

永山 茂男(隈戸)

國井富士雄(増見)

金澤 昇(町屋)

鈴木 好美(上新城)

塩田 正偉(中新城)

大竹 正夫(下新城)

6月定例会日程のお知らせ(予定)

6月13日(火)	定例会開会	(午前10時開議)
6月19日(月)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
6月20日(火)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
6月21日(水)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
6月22日(木)	一般質問・質疑	(午前10時開議)
6月23日(金)	議会運営委員会	
6月26日(月)	各常任委員会	
6月27日(火)	各常任委員会	
6月30日(金)	本会議・閉会	(午前10時開議)

※この日程は、3月24日の議会運営委員会で内定したものです。なお、正式には6月9日開催予定の議会運営委員会で決定します。傍聴する場合は、議会事務局にご確認ください。電話 22-1111/内線 2411・2412

表紙の写真に寄せて

親子の同席を見て、若い世代の生活の足場(保育園)になっていくのを痛感。

新しい子育ての安心して子が産める生活の可能性を担う足場(保育園)に感動しました。

白河市松並 早津栄一

編集後記

昨年は、4市村が合併して新しい白河市が誕生しました。

議会報編集特別委員10名により、議会活動をわかりやすく市民の皆様へ伝えるという議会報の使命を忘れることなく、読者に親しまれる紙面づくりに努力します。

次号より、市民の皆様のご意見、ご質問、ご要望なども参考に編集を進めていきたいと思っておりますので、議会事務局まで、ご一報くださいますようお願いいたします。

編集委員長

深谷幸次郎

副委員長

藤澤正典

編集委員

穂積栄治 飯村 守

我妻茂昭 須藤博之

鈴木博之 藤田久男

真船俊雄 渡部半一